

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8285
担当部課名	学校教育部	青少年相談センター		
事務事業名	青少年相談センター運営費ヤングテレホン事業		事業コード	14125

1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	人間性豊かな子どもを育成します	事業開始年度
基本施策名	第1節	ゆとりある学校教育の創造	~63年度
施策名	第2施策	小中学校教育の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

1、青少年相談センター条例
2、相模原市青少年相談センター相談員に関する要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的	(2) 対象(誰、何)
青少年が抱えている不安や悩み等を気軽に相談できるように専用電話と専門相談員を配し、電話によるコミュニケーションを通して、状況の改善・解決に向けて適切な助言を行う。	市内の小・中・高校生、その他学生、有・無職少年(20歳未満)、保護者等
	対象数 84805
(3) 平成13年度事業の内容	(4) 総合計画・実施計画における概要
<ul style="list-style-type: none"> ・担当相談員 4名 ・相談受付件数 778件 ・事業PRポスター 500枚 カード 2,000枚を製作し配布 ・相談員報酬 7,272千円 	教育相談の充実
	(5) 個別計画の概要
	計画名
	計画年次 年度~ 年度

4 評価指標

指標名	過去の3年間の平均相談件数との比較		
指標式	13年度 = (当年度相談件数/6~19歳人口) / (10~12年度相談件数/6~19歳人口) × 100		
指標設定の意図	過去の相談件数における平均値をもって当年度目標値とした。		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	77	62	a 65	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	8,008	8,208	8,189	8,391	8,084
	人員・時間数	(4.0人/年)	(4.0人/年)	(4.0人/年)	(4.0人/年)	(4.0人/年)
	人件費					
	その他経費					
	合計	8,008	8,208	8,189	8,391	8,084
特定財源	50	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度・・・目標をどれだけ達成したか			
評価	A：達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 64.6%	
C	B：一部達成していない(100%> 80%)		
	C：達成していない (80%>)		
a	64.6	c	e
b	100.0	d	f
$\times 100 = 64.6\%$ $\times 100 =$ $\times 100 =$			
理由：			
(2)必要性・・・時代変化に適応した事業内容か			
評価	A：適応している	理由：現代社会の閉鎖性の中で悩みの相談窓口として匿名性を保たれる電話相談は時代に即応している	
A	B：一部適応していない		
	C：適応していない		
(3)経済性・効率性・・・費用対効果は妥当か			
評価	A：妥当である	理由：担当相談員4人(1人1日6時間週3日)、週当たりの受付時間は52.5時間で表面上効率的とはいえない。	
B	B：一部妥当でない		
	C：妥当でない		
(4)事業の代替性・・・県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価	A：代替の可能性ない	理由：相談電話は他の機関でも行われているが、小・中学生の相談は地域性があるため代替性は低い。	
B	B：代替の可能性低い		
	C：代替の可能性高い		
(5)市民満足度・・・対象市民の満足は得られているか			
評価	A：満足できる	理由：平日の午前8時30分から午後7時までと時間が限定されている。	
B	B：一部満足できない		
	C：満足できない		
(6)有効性・・・当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価	A：有効である	理由：即時・気軽に相談できる上で早期対応に効果的であり、面接等の相談につなげたり解決に向けての相談窓口等を助言できる。	
A	B：一部有効である		
	C：有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明： 傾向として相談件数が減少してきたが、児童生徒にPRすることにより向上可能</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明： 事業費のほとんどが人件費であり、勤務形態の変更ができれば改善可能と思われる。</p>

7 総合評価

評価	B	他自治体の類似事業との比較	川崎市、厚木市、藤沢市、横須賀市、伊勢原市等にて同様の事業を実施中 川崎市 = 週4回12時から20時 専門相談員2名
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	相談件数の減少傾向について 1、携帯電話、インターネットの浸透により匿名性が守られる気軽なコミュニケーションの場が広がったこと、関係機関による電話相談窓口が多く開設されたことによる影響。 2、以前は成人の相談者にも対応していたが、近年は利用の趣旨を説明し、成人の相談をお断りしている。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--